

おおまち

ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

登録ボランティアグループ紹介

おはなしを読む会「風車」

◇グループ立ち上げのきっかけは…

子どもの読み声には、大人にはまねのできない響きがあります。そんな子どもの読み声を伸ばし育て、多くの人たちに聞いていただけたらという願いからこのサークルを立ち上げました。(平成12年に)

◇ 名前の由来は...

風車は、風がなくてはまわりません。私たちおはなしを読む会「風車」も聞いてくださる方たちの支えの風が吹かなければ回ることができません。まわりの方々から回してみたいと思われるような「風車」になる努力を忘れずに。そして、支えの風によって回る「風車」自身の風を多くの方たちに届けたいという思いを込めてつけました。

◇どんな活動をしていますか…

(1) 子ども朗読道場の実施

市内の小学生を対象に、月1回の道場を開いて、詩やお話の暗唱や朗読の練習をしています。

(2) ほらふき学芸会の実施

年に3回ほど、地域の行事のにぎわいに少しでも役にたてばと思い、飴市やゆかたまつりのイベントなどに参加しています。内容は、楽器の演奏・大道芸・道場の子どもたちの朗読や紙芝居の発表などです。（どなたでも参加できます。ほらふきでするのでお気軽にどうぞ）

(3) 読み聞かせ活動の実施

市内の保育園（月1回）や商店街（隔月）で読み聞かせをしています。依頼があるときは、随時対応しています。

子どもが好きで、子どもに関わる活動をしたいと思っ
て中の方。保育・育児について
の知識を深めて、ボランティア
をしてみませんか。

保育サポーターは、市内のイ
ベント時や行事・講座参加
時に託児をするボランティア
です。資格の有無や男女は
問いません。

日時・内容・会場等は、下
記のとおりです。

保育士・多・講座

お互いさまのまぢづくり

学び共々

まず体験から

月日	カリキュラム	講 師	時間	場 所
7.26 (金)	・開講式・オリエンテーション ・保育の心と子どもの遊び ・昼 食 (保育園給食を体験)	しらかば保育園 園長・主任	10:00～ 13:00	しらかば保育園
8.9 (金)	・読み聞かせと遊び ・保育サポーターの活動 (ボランティア活動について)	栗林さとしさん 大町市社協	10:00～ 11:00 11:00～ 12:00	女性未来館ピュア 和室
8.23 (金)	・子どもの成長と栄養	保健センター 保健師、栄養士	10:00～ 12:00	女性未来館ピュア 学習室
9.6 (金)	・幼児安全講習 ・開講式、修了証授与	日赤長野県支部 指導員	10:00～ 12:00	女性未来館ピュア 軽運動室
未 定	・託児ボランティアの実践	ファミリーサポート	バンビ	

小中学生

ボランテア塾

市内小学4年生から中学3年生を対象に、障がいのある方やボランティアと月1回の福祉体験をしながら交流します。

日程・内容は、下記のとおりです
時間 9時30分～12時
参加費 無料

●費用 受講無料（教材費等として500円程度必要）
●定員 10人程度（応募5人未満の場合
合は中止）
●申し込み 7月16日までに
女性未来館ピユアまで
TEL・TEL 22-0694
※託児あります。事前に申し込んでください。

※7月からの参加者を大募集。
直接、社協に申し込んでください。
TEL 22-1501まで

TEL
22
1
1
5
0
1
まで

『**社協連**』

社協は、8月3日(土)に行われる大町やまびこまつりに、大町市社協連凸として参加します。そこで、一緒に踊っていただけの方を大募集します。また、障がいのある方のサポーターとして参加いただける方も募集しています。

参加費 100円(保険料として)
募集締切 7月26日(金)
申込方法

社協窓口（大町市総合福祉センタ
ー内）へ、参加費を添えて申し込み
ください。

※付き添いが必要な方は、付添者も一緒に申し込んでください。

問い合せ先

TEL
22
1
1
5
0
1

大町の夏の夜

一緒に楽しめよう！！

日 程	内 容
6.22(土)	ポッチャで交流しよう（車いす体験） 総体小アリーナで
7.20(土)	点字を打って読んでもらおう
8.8（木）	ひまわりの家に行こう
9.14(土)	手話で会話してみよう
10.12(土)	安曇養護学校“とんぼまつり”に行こう
11.16(土)	要約筆記を教わろう
12.21(土)	ユニバーサルデザインを探そう
1.18(土)	うらしま太郎体験をしてみよう （高齢者疑似体験）
2.15(土)	朗読をしてみよう

楽しいレクリエーション《66》

瞬間記憶ゲーム

置いてあるものを10秒間だけ見て、
どんなものがあつたかを答えるゲ
ームです。

●用意するもの

- ・出題用の小物(おもちゃ、雑貨など)
- ・大きな軽い布か大きな紙

●ゲームの進め方

- ・リーダーは、机にいろいろな小物を置き、
布か大きな紙をかぶせておきます。
- ・参加者は3～5人ずつのグループに分か
れ、1グループが机を囲み、リーダーが合
図をして布をとります。(他のグループ
には見えないように)
- ・制限時間は人数によ
り5～10秒間とし、
参加者は机の上に何
があるかを記憶します。
- ・終了とともに机から離れ、机の上に何が
あつたかをグループで相談し紙に書き
ます。
- ・全部のグループが終了したら答え合わせ
をして、高得点グループの勝ちとします。



●注意とポイント

得点は、「何があつたか」「机のどこにあ
つたか」「どんな形か」「どんな色か」など、
より細かいほど得点をアップします。品
物にメーカー名が入っていたら、それも得
点とします。

●もうひと工夫

カードに「ことわざ」「英単語」「図形」
などを書いて机に並べて、同じようにゲー
ムを進め、どんな言葉があつたかを記憶
してもらいます。内容は参加者に合ったも
のにしましょう。

募集
出展者募集

今年の大北ブロックボランティア
地域活動フォーラムは、10月18日(金)
つなげよう ボランティアの輪
をテーマに、白馬村で開催します。

お互いの活動をもっと知るため、ま
たボランティアへの関心を高めるた
めに、今取り組んでいる活動を自慢
アピールする活動員本町市市を出展し
ます。そこで、活動員本町市市に出展し
ていただける団体・個人とフォーラ
ムの運営をサポートしてくださる方
を募集します。ボラ同士のつなが
り・気づき・学びを生むためのフォ
ラムですので、ご協力ください。
募集締め切りは、7月26日(金)です。
①申し込み・問い合わせ
大町市ボランティアセンター
Tel 221-501

大いに
ご利用
ください



大町市総合福祉センターのボラン
ティア室にあるコピー機が新しくな
りました。今までも、会議資料やイ
ベント等のチラシ作りなどに利用
いただいていたが、機器が新しく
なり使い勝手がよくなりましたので、
大いにご利用ください。

利用料金

白黒コピー…一面4円

カラーコピー…一面25円

用紙…持ち込み(持参してください)

支払方法…半年に一度請求します

利用対象者

大町市ボランティアセンターに登

高校生同士
語り合おう

今、高校生が感じていることや思
っていることを、高校生ボランティ
ア新聞の編集委員と気軽にしゃべ
りする場「しゃべり場」を開催しま
す。

日時 7月15日(月) 14時～17時

会場 もんせんぶら座(長野市)

内容 「ボランティアって何？」

参加費 無料

申込締切 7月10日(水)までに

学校又は市社協まで

録していただいている団体や個人。
詳細は、ボランティアセンターま
で問い合わせください。
※コピー機を利用する時は、事前に
連絡してください。

※コピー機入れ替えにより、白黒コ
ピー料金が変更になりました。

点訳本

- 「免疫道場」 安保徹・鬼木豊著
病気になる体をつくる50講。免疫力を高める方法。(全2巻)
- 「余命ゼロを生きる」 佐藤由美著
「大好きな仕事場で、最期まで働きたい」前向きに生きる姿を描いた作品。(全2巻)
- 「小説 星守る犬」 原田ハマ著
村上たかし原作のコミックを小説化。(全2巻)
- 「娘に語る祖国」 つかこうへい著
在日として生まれた父が娘に語ったわが祖国。(全2巻)
- 「今日の風、なに色？」 辻井いつ子著
全盲で生まれたわが子が「天才ピアニスト」と呼ばれるまで……(全3巻)

点訳本録音図書紹介

視覚に障がいのある方の支援を続け
ている「大町点訳ほたるの会」と「大
町市朗読グループかっこう」は、点訳
本と録音図書を5月に大町図書館に納
めました。

録音図書は以前カセットテープでし
たが、今年からデジタル録音でCDにな
り、デイジー図書になりました。デイ
ジー図書は、目次から読みたい章や節に
飛ぶことができます。

録音図書は、視覚に障がいのある方
だけでなく、文字を読むのが困難に
なった方や長期入院・療養されている
方も利用いただけますので、希望され
る方は大町図書館までお問い合わせく
ださい。

大町図書館 TEL 21-1616

録音図書

- 「みをつくし料理帖シリーズ」 高田郁著
八朔の雪・花散らしの雨
想い雲・今朝の春
料理人 湊の奮闘と取り巻く人々の
人情時代小説。
- 「時雨みち」 藤沢周平著
11作品からなる短編集。
- 「あきらめないでまた明日も」
ふれあい文庫の創 越水利江子著
始者 岩田美津子。全盲の母親の底抜
けに明るい半生を描くノンフィクション。
- 「くじけないで」 柴田トヨ著
90歳を超えて詩作を始め、98歳で初
めて刊行した詩集。日常を前向きに
生きたトヨさんの詩。